

国土交通省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び環境省が内閣府総合海洋政策推進事務局の協力を得て実施している「第17回海洋立国推進功労者表彰」（内閣総理大臣賞）において、以下の4名及び1団体が受賞されることとなり、令和6年7月15日、日本科学未来館において表彰式が行われました。

※ 本表彰は、海洋基本法及び海洋基本計画に基づき、海洋に関する分野で顕著な功績を挙げた個人・団体を表彰し、その功績をたたえ広く世に知らしめることにより、国民が海洋に対する理解を深めて頂く契機とすることを目的として、平成20年度より実施しております。

日時：令和6年7月15日（月・祝）11時30分～12時00分

場所：日本科学未来館7階イノベーションホール

出席者：松村内閣府特命担当大臣（海洋政策）、
高杉内閣府総合海洋政策推進事務局長、
今井大臣官房技術審議官（海事局担当）等

受賞者：

1. 「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野

○大河内 直彦（海洋研究開発機構海洋機能利用部門長/
生物地球化学研究センター長）

（功績概要）有機分子同位体を用いた海洋の新規研究法の確立

○石井 雅男（気象庁気象研究所気候・環境研究部主任研究官）

（功績概要）海の二酸化炭素を正確に測り、人間活動が炭素循環に及ぼす影響の把握に貢献

2. 「海洋に関する顕著な功績」分野

○高藪 縁（東京大学大気海洋研究所名誉教授）

（功績概要）地球衛星観測による気候現象理解への貢献

○田村 兼吉（元(独)海上技術安全研究所海難事故解析センター長、
元運輸安全委員会委員）

（功績概要）海洋分野の技術・学術的知見を活かした海難事故解析手法の開発及びその体系化に貢献

○苫小牧漁業協同組合

（功績概要）海洋環境の保全と調和したCCS実証への協力



第17回海洋立国推進功労者表彰の様子